

令和6年度本科2学期 始業式式辞（令和6年9月2日）

みなさんこんにちは。先生は、台湾海外研修が9月3日までであるため、残念ですが始業式には出席できません。本日は皆さん元気に登校できているでしょうか。

今日からはじまる2学期は、みなさんの高校生活において大きな意味を持ちます。特に3年生・4年生にとっては進路実現・進路決定の時期であります。2週間後にはじまる就職試験から大学、専門学校の入学試験と休む間もありません。先生方と相談を密にしながら高校生活の集大成として大切な時期を過ごして下さい。また、3年生にとっては、高校生活最大のイベント、修学旅行が待ち構えています。異文化も含めたこれまでの修学旅行では味わえない貴重な体験をするために入念な準備をお願いします。1年生にとっては高校入学後、初めての夏休みが終わり、気持ちの上で、少し余裕が見え始めてきたのではないのでしょうか。2年生も含め、充実した高校生活となるよう初心を思い起こした取組みをお願いします。そして、従来の販売実習の他に、全校生で取り組む行事として9月には長田神社前商店街で実施する「NAGAZON秋祭り」、11月には本校で実施する「青雲長商ふれあい祭」があります。特に、秋祭りでは、今年初めての試みで校外において株式会社NAGAZON単独実施となります。当日に向けて学校全体で入念な準備に入っているところですが、一人でも多くのお客様に来店いただくために全校生一人一人の声かけが必要になります。是非よろしくをお願いします。

さて、40日余りに及ぶ夏休みを顧みると、今年初めての試みの登校日は勿論、3・4年生の進路対策補習や校外での販売実習等では厳しい暑さの中、長商生の元気な笑顔を見ることができ大変嬉しく思いました。

話は変わりますが、時を同じくして、4年に1回のオリンピックがパリで実施され10代の選手たちの躍動もあり海外大会として史上最多の45個のメダルを獲得しました。前回のコロナ禍での東京オリンピックでは無観客での開催でしたが、今回は有観客での実施で、敗者復活戦にまわり銅メダルを獲得した選手の「皆さんの応援のおかげで気持ちを立て直し銅メダルを獲得できました」という言葉に象徴されるとおり改めて観客の方の応援の力を感じる大会となりました。その中でも私が最も感動したのは体操男子団体戦の前回大会優勝でライバルの中国との決勝です。5名の選手が演技していくのですが誰もが厳しいという状況からの「奇跡の大逆転の金メダル」です。その逆境の中でも絶対に諦めなければ夢叶うという強い思いで、限られたチャンスの中で最後まで全力を出し切りやりきることの大切さを改めて実感しました。そのためには、たくさんの経験を含めた入念な準備とその準備を共にしてきた一人じゃなしえないチーム

の力がありません。その意味を深く考えることが大切だと思います。

最後に、長期の夏休み過ごし、今日から 2 学期がスタートします。厳しい暑さのために友人と出歩くこともままならず、みなさん自身、多くの不安やストレスを感じていることと思いますが、一人で悩まず、仲の良いクラスメイトや、担任の先生はもちろん、話しやすい先生などに気兼ねなく相談をしてみてください。

みなさんが一日も早く、学校生活への切り替えが出来ることを願い、2 学期始業式の式辞とします。

校長 松本 秀孝

代読 教頭 和田 陽之